

- ① 講師 郡山女子大学短期大学部教授 長谷川寿郎  
福島県立郡山女子高等学校長 佐藤 正義
- ② 助言者 県教育庁社会教育課員  
県北・県中両教育事務所員  
青少年教育指導員  
福島市および郡山市教育委員会職員

(4) 参加対象

- ① 民間有志指導者  
(青少年団体育成指導者、PTA関係者、児童福祉関係者、青少年育成県民運動関係者)
- ② 市町村青少年教育行政担当者

(5) 内容

- ① 主題 「有志青少年指導者の活動を振興するにはどうしたらよいか」
- ② 講演 「少年の校外生活とその指導」
- ③ 研究協議  
第1部会…「青少年の健全育成をはかるため、有志指導者はどのように活動したらよいか」  
第2部会…「有志青少年指導者の育成はどのようにすすめたらよいか」

④ 事例発表者

- 福島会場…本宮町児童生徒愛護会 安齋 正光  
梁川小学校PTA 大竹 英智
- 郡山会場…須賀川市上町子ども会 阿部伊三男  
郡山市教育委員会社会教育課 滝田 要司

(6) 効果

青少年の全人教育をすすめる立場から、家庭や学校では果たしにくい社会における少年教育のあり方についての理解が深まり、今後の活動において関係機関団体等の連携や協力、有志指導者の発掘と養成について積極的な協議がなされた。

### 3. 少年団体指導者研修会

(1) 趣旨

子ども会等少年団体の指導者にその運営や指導内容についての知識・技術を研修させ、資質の向上と少年団体活動の振興をはかる。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期日 昭和47年8月8日～10日(2泊3日)
- ② 会場 福島県少年自然の家
- ③ 参加者 子ども会等少年団体において実際指導にあたる有志指導者、または公民館職員(原則として18才以上25才未満)で市町村教育委員会教育長の推せんする者。40名。

(3) 講師・助言者

- ① 講師 福島大学教育学部教授 古旗 安好  
日本赤十字社福島支部事業課長 清野 美雄  
福島市教育委員会事務局社会教育課長 佐藤利三郎

- ① 助言者 福島県教育庁社会教育課員・県中教育事務所員・福島県少年自然の家職員

(4) 内容

- ① 講義 「少年団体活動の意義」

- 「少年団体の組織・運営とリーダーの役割」  
「子どもの遊びと行動の理解」
- ② 実技 「キャンプファイヤー」「室内外ゲーム」  
「救急法」「歌唱」「キャンプの設営徹収」
- ③ 討議 「プログラムの立案と展開」  
「少年団体の現状と問題点」  
「集会活動について」

(5) 効果

少年団体活動の意義・組織・運営をはじめ、レクリエーション・救急法等の実習により少年団体活動についての理解を深め、その重要性を深く認識し、参加者の今後の活動が期待される。また、福島県少年自然の家の第1回利用者としての誇りを感じ、終始熱心に研修し、奉仕活動を行なうなど成果をおさめ得た。

### 4. 青年団体指導者研修会

(1) 趣旨

地域青年団体の幹部指導者に対し、団体運営活動についての基本的事項について研修させ、もって県下地域青年団体活動の振興をはかる。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期日 昭和47年8月21日～23日(2泊3日)
- ② 会場 福島県少年自然の家
- ③ 参加者 市町村を単位とする地域青年団長・副団長・役員および青年グループの指導者(50名)

(3) 講師・助言者

- ① 講師 日本レクリエーション協会参与 寒河江善秋  
国立盤梯青年の家事業課長 春日 英明  
郡山女子大学講師 国馬 善郎
- ② 助言者 県教育庁社会教育課員・県中教育事務所員  
福島県少年自然の家職員

(4) 内容

- ① 講義 「青年団体活動の意義とリーダーの役割」  
「青年団体の組織・運営と活動のすすめ方」  
「ソ連青年の現状」  
「現代社会と青年」
- ② 実技 「室内外ゲーム」「歌唱」「キャンプファイヤー」
- ③ 討議 「青年団体の現状と問題点」  
「集会活動・広報活動のあり方」

(5) 効果

福島県少年自然の家第2回目の利用者として、奉仕活動を行なうなど、新しい施設を活用しリーダーとしての理論や技術の実際について研修を行ない、青年団体としての健全な地域活動のすすめ方について理解を深め、研修生の今後の地域活動が大いに期待される。

### 5. 青年国内研修

(1) 趣旨

勤労青年を国内の先進地に派遣し、教育・文化・産業に関する調査・研究・視察・交歓を行ない、広い視野のもとに郷土の姿を正しく理解させ、青年活動の中堅指導者としての資質の向上をはかる。

(2) 実施要項